

浜岡原子力発電所 1号機 原子炉圧力容器内シュラウドのサンプルの輸送について

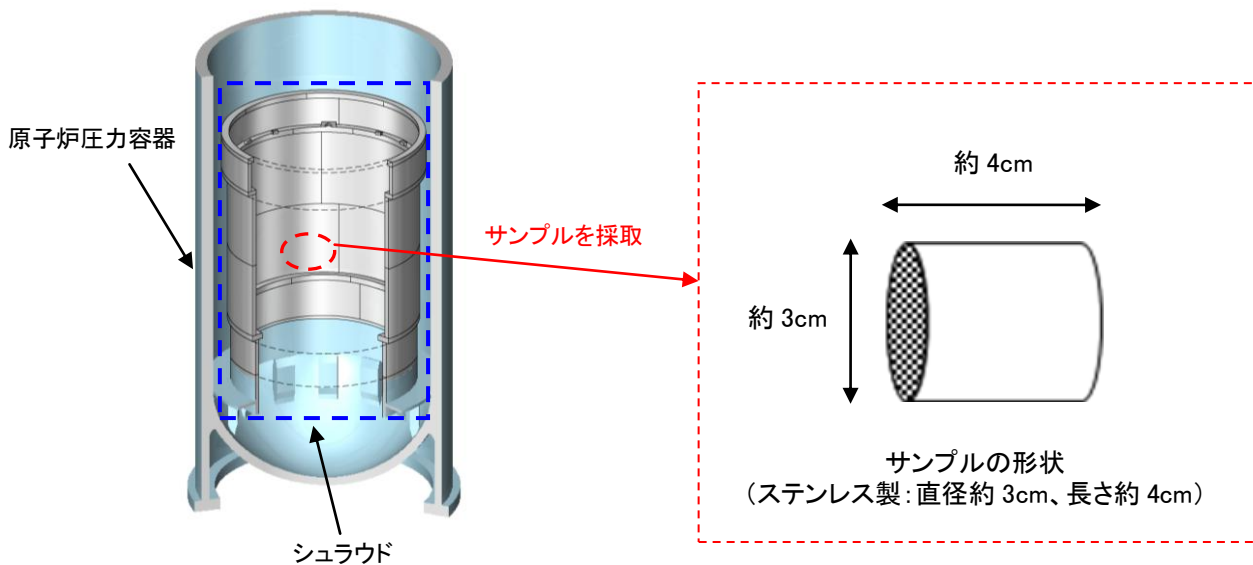
2014年9月10日

当社は、本日、廃止措置中の浜岡原子力発電所1号機について、原子炉圧力容器内シュラウド[※]から採取したサンプルを、日本核燃料開発株式会社へ輸送するため、お知らせします。

これは、廃止措置計画の第2段階以降でおこなう放射線管理区域内の解体工事に先立って実施している汚染状況調査の一環としておこなっているものです。

輸送したサンプルは、放射能濃度測定などの分析をおこない、第3段階でおこなう原子炉領域の解体撤去工事に伴って発生する放射性固体廃棄物の放射能濃度と物量の評価や、解体工法、解体撤去手順の検討に活用していきます。

サンプルの輸送にあたっては、輸送物が「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」で定められる技術基準に適合していることを確認したうえでおこないます。



1,2号機廃止措置計画のスケジュール

2008年度～	2013年度～ 2014 2015	2018年度～ 2022	2023年度～ 2023	2028年度～ 2029 2030	2033年度～ 2036
第1段階 解体工事準備期間		第2段階 原子炉領域周辺設備撤去期間		第3段階 原子炉領域解体撤去期間	
				第4段階 建屋等解体撤去期間	
◆運転終了(2009年1月30日)					
◆廃止措置計画認可(2009年11月18日)					
使用済燃料搬出		原子炉領域周辺設備解体撤去			
新燃料搬出		安全貯蔵			
汚染状況の調査・検討		原子炉領域解体撤去			
系統除染		建屋等解体撤去			
放射性廃棄物の処理処分(運転中廃棄物または解体廃棄物)					
放射線管理区域外の設備・機器の解体撤去					

注) 本計画については、工事の実施状況、検討・評価状況等により変更となる可能性があります。

※シュラウドとは、原子炉圧力容器内に装荷されている燃料集合体(炉心)を囲むように設置されている円筒状の機器で、原子炉内の冷却水の流れを分離する仕切板の役割を持ったものです。

以上